

# 地域で支える認知症公開講座

この家族のやさしさに包まれてみませんか…



ぴあ映画  
初日満足度1位  
(11月3日ぴあ調べ)

文部科学省  
特別選定映画

厚生労働省  
推薦映画

認知症の母と耳の遠い父と離れて暮らす私

# ぼけますから、

# よろしくお願ひします。

ドキュメンタリー映画

広島県呉市。泣きながら撮った1200日の記録

監督・撮影・語り

ひとり娘

信友直子

日時 令和元年8月24日(土) 14:00~16:00

開場は、開演30分前の13:30からとなります。

場所 内容 ハピネスふくちやま 4階 ホール (福知山市字内記100) 福知山市役所隣

ドキュメンタリー映画上映  
「ぼけますから、よろしくお願ひします。」

お問合せ先 TEL. 0773-23-6039 (福知山医師会)

TEL. 0773-22-6381 (京都府中丹西保健所)

主催 一般社団法人 福知山医師会

京都府中丹広域振興局健康福祉部 (中丹西保健所)

京都府中丹西地域包括ケア推進ネット

福知山市

★裏面のFAXまたはメールでお申し込みください

Mail [chushin-ho-nishi-hoken@pref.kyoto.lg.jp](mailto:chushin-ho-nishi-hoken@pref.kyoto.lg.jp)

参加費無料





# かたうを向けず 初めづいいた。 両親がお互いを思い合っているということ。



母、87歳、認知症。  
父、95歳、初めての家事。

広島県呉市。この街で生まれ育った「私」(監督・信友直子)は、ドキュメンタリー制作に携わるテレビディレクター。18歳で大学進学のために上京して以来、40年近く東京暮らしを続けている。結婚もせず仕事に没頭するひとり娘を、両親は遠くから静かに見守っている。

そんな「私」に45歳の時、乳がんが見つかる。めそめそしてばかりの娘を、ユーモアたっぷりの愛情で支える母。母の助けで人生最大の危機を乗り越えた「私」は、父と母の記録を撮り始める。だが、ファイナダーを通し、「私」は少しずつ母の変化に気づき始めた...

病気に直面し苦悩する母。95歳で初めてリンゴの皮をむく父。仕事を捨て実家に

帰る決心がつかず揺れる「私」に父は言う。「(介護は)わしがやる。あんたはあんたの仕事をせい」。そして「私」は、両親の記録を撮ることが自分の使命だと思い始め—

## 大反響のテレビドキュメンタリー、待望の映画化。

娘である「私」の視点から、認知症の患者を抱えた家族の内側を丹念に描いたドキュメンタリー。2016年9月にフジテレビ/関西テレビ「Mr.サンデー」で2週にわたり特集され、大反響を呼んだ。その後、継続取材を行い、2017年10月にBSフジで放送されると、視聴者から再放送の希望が殺到。本作は、その番組をもとに、追加取材と再編集を行った完全版である。娘として手をさしのべつつも、制作者としてのまなざしを愛する両親にまっすぐに向けた意欲作。



港町呉は坂の多い町でもあります。買い物するにも一苦労。結婚以来、父と母はずっとここで暮らしてきました。

ひとり娘  
ドキュメンタリー監督  
**信友直子**

1961年広島県呉市生まれ。東京大学卒業。在京キー局で数多くのドキュメンタリー番組を手掛ける。放送文化基金賞奨励賞、ニューヨークフェスティバル銀賞、ギャラクシー賞奨励賞など受賞多数。



★映画「ぼけますから、よろしくお願ひします。」参加申し込みFAX用紙  
(FAX 京都府中丹西保健所 0773-22-0429 まで) ※8月19日(月) 〆切

氏名	電話番号	団体名

※1枚のご応募で5名様迄